

# US NAVY AIRCRAFT の塗装講座 (ハイビジ編)

## 塗装講座(ハイビジ編)

1. 塗料と塗装用具
2. 塗装手順 RA-5C を作る



webmodelers 増刊  
プラモデルを作ろう! Beginners スタートアップ (No. 1)  
US NAVY AIRCRAFT の塗装講座  
(ハイビジ編)

Index	イントロダクション
US NAVY AIRCRAFT の塗装講座(ハイビジ編) <b>(1) 塗料と塗装用具</b> (1) 塗料 (2) 塗装用具 (3) 航空機プラモデルの組み立てに必要な接着剤, おもり, パテ  <b>(2) 塗装手順 RA-5C を作る</b>	最もUS NAVY機が美しいと言われた50年代から70年代まではハイビジ(ハイビジリティ)といわれる上面 ガルグレー、下面ホワイトの2色迷彩がほとんどです。  塗装講座 (1)では 初心者向けに、ハイビジ機の塗装に使う塗料や塗装用具、組み立てに必要な接着剤など説明します。  塗装講座 (2)では、米海軍機のハイビジ塗装について、エアブラシ塗装、マスキングによる塗装を具体的に紹介してゆきます。 作例として 大きめで組み立てやすいマイクロエースの1/144 RA-5C ビジランティを選びました。

「プラモデルを作ろう! Beginners スタートアップ シリーズ」について

プラモデルを作りたいと思っても、さて 具体的にはどうするの？  
作り方や塗装の方法、使用する塗料や、塗装用具は？と疑問を 持たれる方が多いでしょう。  
また、また、ブログに自分で作った作品をアップし、展示会に参加しようと思っても  
プラモ写真の撮り方や 展示会への梱包方法は どうするの？ と  
疑問が多いことでしょう。

こんな方のヒントになるように webmodelersでは、小冊子のモデリングガイドを用意することにいたしました。題して

「プラモデルを作ろう! Beginners スタートアップ シリーズ」

昨今では書店に行けば、プラモデル製作に関するマニュアル本が多く並ぶようになりましたが、どれも詳しすぎて、読むのも大変そうです。それに高価です。

プラモデルは 本来 カッターナイフ 一つ用意すれば 気軽に簡単に組み立てられます。でも、やはり本物のように 塗装できれば さらに楽しみも満足感も増します。  
もし、それが NET模型誌に掲載され、友人や家族に自慢できるようになれば、モチベーションも上がるというもの。  
あなたのプラモデル趣味もより 深くなっていくことでしょう。

そして この No. 1 では 人気の米海軍JET機のハイビジリティ塗装に 使う塗料や塗装用具、塗装方法を紹介します。



## US NAVY AIRCRAFT の塗装講座(ハイビジ編) (1) 塗料

50年代から70年代までの米海軍JET機はハイビジ(ハイビジリティ)といわれる上面 ガルグレー、下面ホワイトの2色迷彩でした。最もUS NAV機が美しいと言われた黄金の時代です。

初心者の方に、米海軍JET機の塗装に 使う塗料や塗装用具、塗装方法を簡単に紹介します。まずは ハイビジ塗装に使う塗料です。

米海軍機の ハイビジリティ塗装



### ラッカー塗料

ハイビジ時代の米海軍機の上面はガルグレー、下面はホワイトで塗装されていました。

初心者には乾燥が比較的早く、塗膜も固い模型用ラッカー塗料がお奨めです。GCIクレオス(旧グンゼ)のMr カラーシリーズの中のラッカー-特色が色が正確で、模型店で購入できます。

上面色ガルグレー :  
No.315 グレーFS16440

下面色ホワイト :  
No.316 ホワイトFS17875

コクピット内 ダークガルグレー:No.317 グレーFS36231

をします。  
その他に

翼前縁とタイヤ :  
つや消しブラックNo.33

ジェット吸入口 :  
レッド(赤) No.3

ジェット排気口、脚オレオ :  
シルバー(銀) No.8  
(ジェット排気口はシルバーとつや消しブラックを混合します。)

上の計6色があれば とりあえず塗装できます。余裕があれば、他の色も買い揃えると良いでしょう。

下はGCIクレオスの Mr カラーの写真です。

No.315 グレー, 316 ホワイト, 317 ダークグレー



No.3 レッド, 8 シルバー, .33 ブラック



この他に、塗料薄め用のエアブラシ用シンナー と 塗装時のマスキングに使うマスキングゾルを用意します。

### シンナーとマスキングゾル

エアブラシ用シンナーは 塗料に合わせて、Mr.COLOR 専用のもを使います。エアブラシではシンナーを大量に使うので徳用の大ビンを購入するのが良いでしょう。エアブラシ専用うすめ液と表示されていますが、エアブラシだけでなく筆塗り用途にも使えます。

マスキング リキッドは HASEGAWA TRYTOOL から発売されているものが使いやすいでしょう。一度乾燥すると水で溶けることなく、水性塗料でも使えますし、ナイフでシャープに切れま  
す。  
いずれも模型店で購入できます。

エアブラシ用シンナー



マスキングリキッド (マスキングゾル)



この他、動翼などのスマイレ用に油彩(油絵具)を使います。

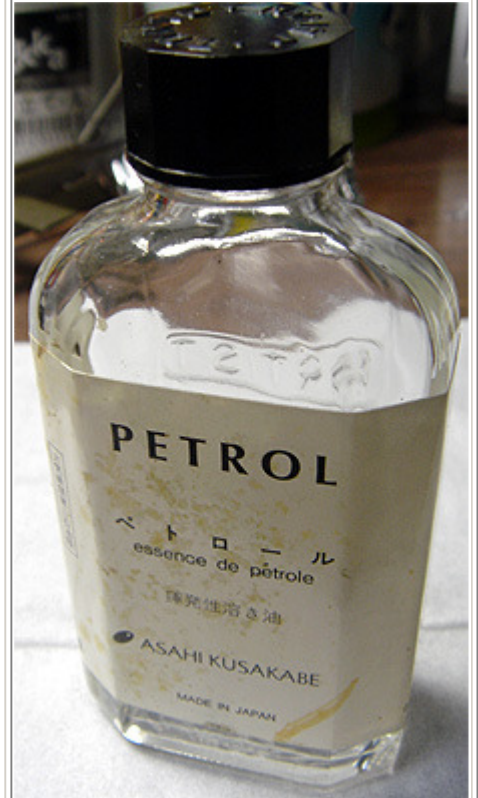
### スマイレ用塗料

動翼などのスマイレ用に 油彩のローアンバーと 油彩用溶き油のPETROLがあると良いでしょう。ローアンバーはこげ茶色のような色です。文具店や画材店で購入できます。

クサカベのローアンバー



PETROL





## (2) 塗装用具

次は塗装に必要な用具について説明します。  
必要なものは 次の4種類です。

- (A) 面相筆
- (B) 塗料皿
- (C) エアブラシ
- (D) コンプレッサー

### (A) 面相筆

面相筆は安いもので結構です。1本あればOKです。  
文具店で購入できます。面相筆には太さでNoがついているので、No.0という太さを探してください。

写真は BUNSEIDOの面相筆 No. 0



### (B) 塗料皿

塗料皿ですが、エアブラシ用の塗料混合には 大き目の金属塗料皿が使いやすいようです。  
模型店で専用の塗料皿を購入するのであれば、万年というメーカーの塗料皿大(下のような写真のもの)を購入すればよいでしょう。5枚で200円くらいです。

万年というメーカーの塗料皿



筆塗用には  
わざわざ購入しなくても 台所にある弁当用のアルミホイルケース皿(8号くらい)が流用できます。100枚で100円くらいですから  
使い捨てにしても大変安いものです。

アルミホイルケース皿(8号くらい)



## (C) エアブラシ

エアブラシ塗装が筆ムラも出ず、一番簡単です。エアブラシは最初は高級なものを揃える必要は全くありません。

私は一番安いGCIクレオスのMr.Hobby PS265というシングルアクション 0.3mm口径のものを愛用しています。大きな模型店で購入できますが、ヨドバシで7000円くらいで購入できます。最近では通販時代で、アマゾンでも購入可能です。

エアブラシ Mr.Hobby PS265



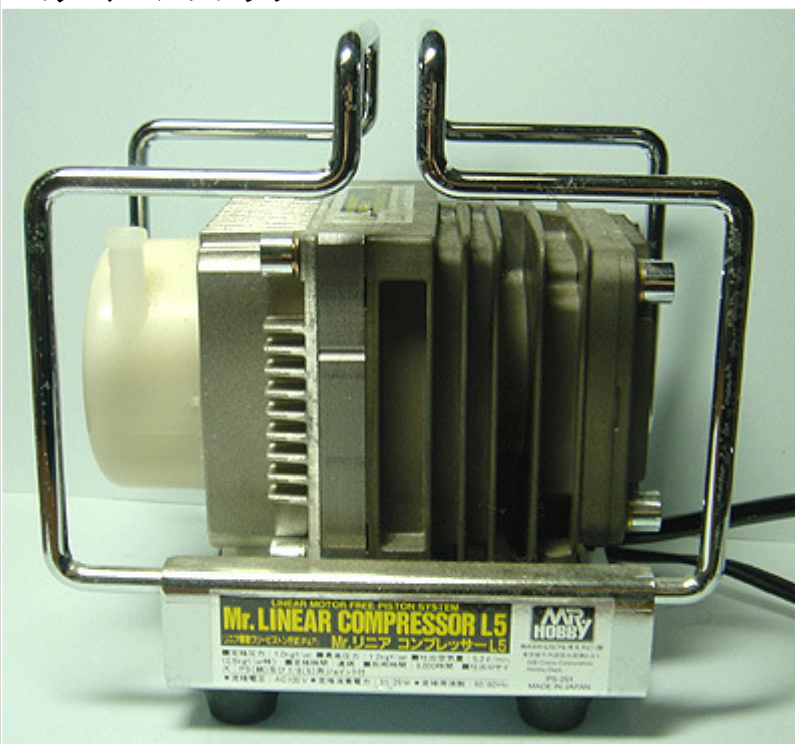
## (D) コンプレッサー

エアブラシは圧縮空気を使いますので、コンプレッサーが必要です。GCIクレオスのMr. リニアコンプレッサーL5が振動もほとんど無く静かで、手ごろな価格で購入できますのでお薦めです。大きな模型店で購入できますが、定価25000円のものヨドバシなどでは20000円くらいの値引きで入手できます。最初は高いと感じますが、コンプレッサーは丈夫なので一度買うと一生モノです。

最近では通販時代で、アマゾンでも購入可能です。

近くで購入が出来ないときは、NETでアマゾンの中を検索するとよいでしょう。

Mr.リニアコンプレッサー L5





### (3)航空機プラモデルの組み立てに必要な 接着剤, おもり, パテ

航空機プラモデルを組み立てる際に必要な接着剤  
やおもりについて紹介します。

購入できる場所  
接着剤: 模型店、ホームセンター、スーパー  
おもり: スーパーの文具コーナー

#### 接着剤

航空機プラモデルに使う接着剤は タミヤセメントの流し込みタイプが一番使いやすいようです。ふたについている付属の筆で接着部にごく少量流し込みますと、スチロールプラスチックが溶解し強固に接着されます。

タミヤセメント(流し込みタイプ)



#### 多用途接着剤

脚、脚カバー、アンテナなど小物の接着には粘度の高い接着剤を使います。私はプラスチック用でなく、3Mの多用途強力接着剤(合成樹脂系)を使用しています。固着までに時間の余裕があり位置決めに便利で、脚カバーを胴体に「いもづけ」する際に威力を発揮します。動かぬ固定が必要な場合は、多用途接着剤で仮止めし位置決めしてから瞬間接着剤で固めます。ホームセンター、スーパーの日用品コーナーで購入できます。

3M 多用途強力接着剤(合成樹脂系)



#### 瞬間接着剤

固着までの時間が短いので、主翼上半角を決める際に威力を発揮します。また、主脚を固める際にも使います。小さい段差を埋めるパテがわりにも使えます。スーパーでも購入できます。

ボンド アロンアルファ



## おもり

前脚があるジェット機は重心が後部にありますのでしりもちをつかないように、オモリを機首に仕込んで胴体左右を接着しなければなりません。また、おもりが機首の中で動かないように油粘土で留めておくようにします。

オモリは魚釣り用のオモリセットを一つ買っておくといいでしょう。わざわざ「釣り具屋」に行かなくても、最近ではホームセンターのツリコーナー等でも売っています。

油粘土は文具屋かスーパーの文具コーナーで 子供用の「あぶらねんど」が売っていますので、それを使います。

釣り用おもりセット ( 200 円くらい )



子供用あぶらねんど ( 150 円くらい )



## パテ

胴体左右の接着部の段差やプラスチックのへコミなどをパテで埋めます。模型店で入手しやすいタミヤから発売されているチューブ入りの「タミヤパテ (ベーシックタイプ)」が使いやすいでしょう。模型店で購入できます。

タミヤパテ





### (3)米現用海軍機モデルの 塗装手順 (ハイビジ編) RA-5C ビジランティ (マイクロエース 旧オオタキ 1/144)

by 田口 博通 Hiromichi Taguchi

米海軍機、米海兵隊機は 厚木や岩国に駐留しているため、US NAVY フリークも多く、写真やグッズを集めるだけでなく、自分でプラモデルを作って飾ってみたいと思う方が多いようです。web モデラーズにも そんな方からお便りをいただきます。

プラモ店に行くと、迷うほど多くのキットが棚に並んでいます。気に入ったモデルの箱を開けてみると、部品点数が非常に多く、塗装も必要であることがわかり、敷居が高いことがあるとのこと。

プラモデルの組み立て方法について、最近は書店マニュアル本が多く並んでいます。ただ、それらは 艦船やガンダムや戦車のマニア的な塗装方法や改造法の紹介が多く、そんなに手間がかかるのであればと 二の足を踏むことがあるようです。

50年代から70年代までの米海軍機はハイビジといわれる上面 ガルグレー、下面ホワイトの2色塗り分けがほとんどです。最もUS NAVY 機が美しいと言われた黄金の時代です。

初心者の方向けに、米海軍機のハイビジ塗装について、エアブラシ塗装、マスキングによる塗装を具体的に紹介してゆきます。

組み立てるモデルには低価格で部品点数が少なく、組み立てやすいわりに大きめのプラモデルとして マイクロエースの 1/144 RA-5C ビジランティを選びました。

組み立てに必要な接着剤や、塗料、塗装に必要な用具は別ページにまとめてありますので、そちらをご参照ください。



### 実機解説

まずは、実機をよく 知ることが興味の第一。  
NAVY で使われた偵察機 RA-5C とは どんな飛行機だったのでしょうか？  
「実機解説」です。

#### 「実機解説」

ノースアメリカンRA-5C 偵察機は核攻撃機 A-5A シリーズから発達し、1962年に初飛行しました。A-5A 攻撃機は1955年に空母に配備され米国の核報復能力の一端を担っていましたが、SLBM 搭載原子力潜水艦の配備により、空母搭載の核攻撃兵力の必要がなくなり、お役ご免となったところ、大型でペイロードに余裕があることを生かし、偵察機に転用されました。

偵察カメラ、各種センサーなど偵察機材が機体下面のカヌー型ポッドに追加されています。各空母に分遣隊が派遣され、ベトナム戦争ではSAM サイトの偵察などに全期間使われました。

マッハ2級の性能を持っていましたので、撃墜された機体は少なく、ほぼ全機が退役後、アメリカのデビスモンサン集積場にモスポールされて収められています。

全長 22.31m  
全幅 6.15m  
乗員 2名  
最大速度 マッハ2



## キットについて

旧オオタキのRA-5Cビジランティはアライを経て現在はマイクロエースから発売されています。写真の箱絵はアライ時代のものです。実機が大きいので、1/144でも、ちょっとした1/72 ジェット機くらいの大きさがあります。

モールドは端整なスジボリで、スタイルの良さには定評がありました。キャノピーの形状や、脚部品もしっかりしており、名キットの評価もあります。エアインテーク部にストレーキ付の後期型が再現されていて、デカールは 米太平洋艦隊の NKのマーク エンタープライズ搭載機のもの1種付属していました。

スーパーデカールから別売りデカールも発売されていたので、塗装を変えて揃えることも可能です。

箱絵（アライ時代のもの、現在はマイクロエースと社名が変わっている）



## 製作

1/144ですから、オモリを機首に仕込んで胴体左右を接着し、主翼、尾翼を接着すれば、すぐ形にすることができます。コクピット内を最初に作る必要はありません。

手を加えた方がいいのは機首のピトー管です。模型店で0.5mm径のシンチュウ線を購入して、先をヤスリで少し尖らせ、瞬間接着剤で機首レドーム先端に接着し、根元の形状を丁寧に整形しておきます。

1日以上経ってから胴体と翼の接着部を600番くらいの耐水ペーパーで削ってなめらかに整形します。キットは翼の後縁も薄くシャープですし、胴体背中のふくらみもこんなものでしょう。

胴体下面の偵察機材が入ったカヌーも接着しておきます。これで塗装前の機体はできあがりです。

胴体下面写真





## 塗装手順

塗装の手順を具体的に紹介します。

GCI クレオスのプラモデルラッカー塗料特色の  
上面色ガルグレー :No.315 ガルグレー FS16440  
下面色ホワイト :No.316 ホワイト FS17875  
を用意します。

(1) まず、全面を上面迷彩色のガルグレー315でエアブラシで塗装してしまいます。このガルグレーは下塗りを兼ねているわけです。

(2) 次に全面をマスキングゾルを2度塗りして、マスクしてしまいます。乾燥したら、ホワイト色に塗装する場所(舵面、下面、垂直尾翼)のマスキングをナイフでカットして取り去ります。

(3) 乾いたら、ホワイトNo.316で全面を塗ります。

(4) マスキングを丁寧に剥がします。

(5) その後、細部をマスキングしながら、面相筆で塗っていく。

この手順が一番簡単です。

( 注意点 )

(1) エアブラシ用に塗料をシンナーで薄める濃度はおよそ塗料1に対し、シンナー2程度ですが、これは季節でも、エアブラシの口径でも変わりますので 実際に自分で試してみてください。薄すぎるといくら吹いても色が留まらず、濃すぎるとモスラのように糸を引きます。エアブラシの塗料濃度は悩ましいですが、必ず習得する必要のあるスキルです。

(2) マスキングゾルは必ず、2度塗りが必要です。ハセガワから乾くとオレンジ色になるマスキングゾルがでていきますので それを使われるとよいでしょう。一本買うと10機分くらいは作れます。カットティンギンはよく乾いてから行ってください。ナイフには私はよく切れる貝印の片刃かみそりを使っています。

(3) 主翼のガルグレーとホワイトの塗り分けは舵面に沿っているわけではないので、注意が必要です。(下写真を参考に)  
垂直尾翼はオールフライング式可動なので、全面ホワイトとなります。

### (1) ガルグレー全面塗装 そして マスキング

組みあがった胴体を ガルグレーで全面を塗ります。

そして、マスキングゾルを塗り、乾いたらホワイトになる部分をナイフでカットします。

機体下面、機首レドームと可動舵面が基本的にホワイトになります。

ビジランティは垂直尾翼が全面ホワイト、又尾翼前縁もホワイトです。

主翼、尾翼上面は ガルグレーとホワイトの塗り分け線に注意で、下の写真のように塗りわけます。





## (2) ホワイトの塗装

エアブラシでホワイトをマスキングを剥がした場所全面に塗装します。



マスキングゾルをはがすと この通り、きれいな塗りわけが実現できました。





### (3) 細部塗装

次に主翼前縁など細部を塗って行きます。

主翼前縁にはホワイトのアンテナ部分とブラックの前縁部分があります。  
ホワイト部分を筆で塗って乾いたら、ブラック部分を塗装するために、マスキングゾルを塗ります。  
マスキングゾルが乾いたら、ブラックになる部分だけナイフでカットして剥がします。

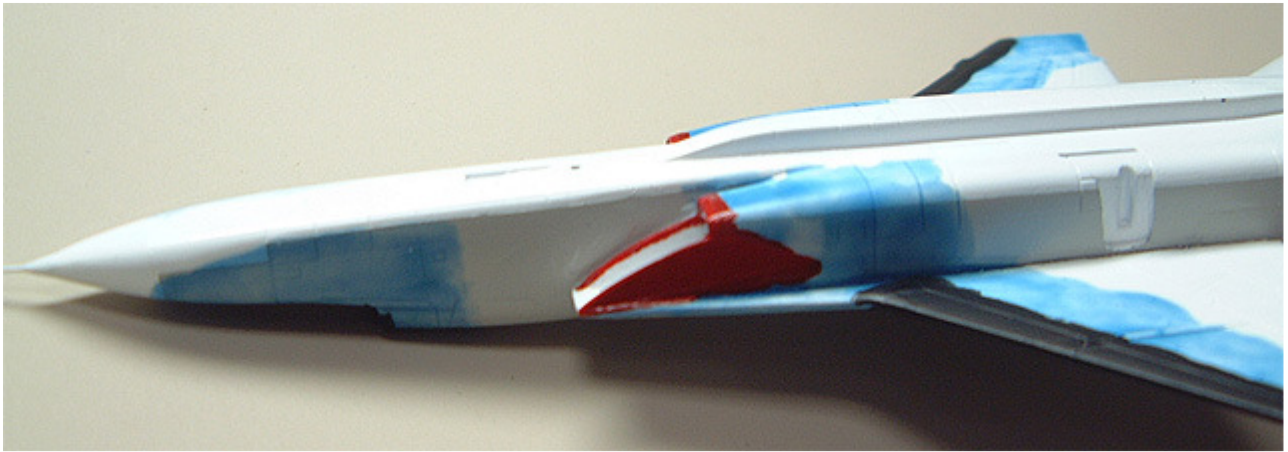


黒つや消しを 筆塗りで塗装します

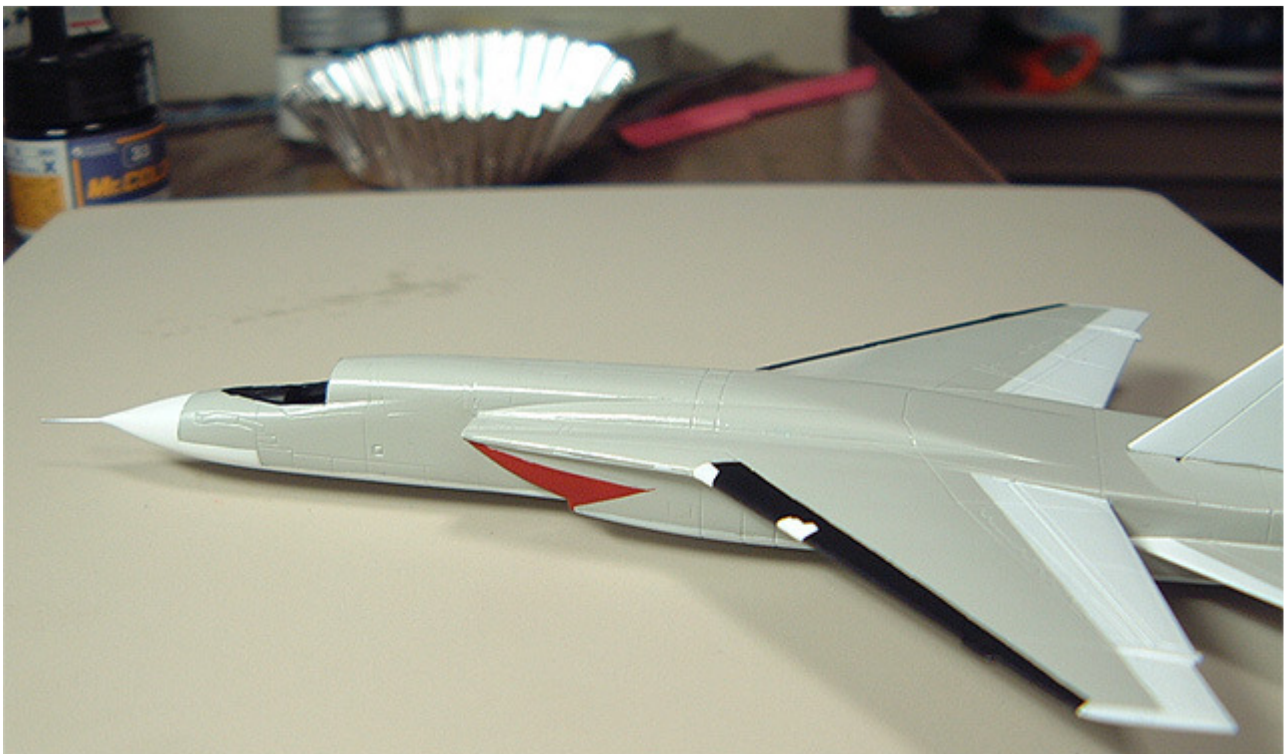


## エアインテークリップのレッド塗装

エアインテークリップはレッドになっています。  
同様にエアインテークをマスキングしてレッドを塗装します。



マスキングをはずすとこの通り 主翼前縁もエアインテークリップもシャープな塗りわけになりました。  
後ろに写っているのは アルミ箔のホイールカップですが、塗料皿代わりに使っています。右に見えるのは貝印の片刃のカミソリ。マスキングゾルをカットするのにナイフ代わりに使っています。





## 面相筆で 細部塗装

面相筆で 主脚をホワイトで、車輪はブラックで、シートもブラックに塗ります。  
尾部の排気口部分はブラックにシルバーを混ぜて、焼け鉄色を作り、同様に面相筆で塗ります。  
コクピットは見える範囲をダークガルグレーNo.317で面相筆を差し込んで塗り、  
グレアシールドはブラックに丁寧に塗っておきます。

シートはブラックで塗装



グレアシールドもブラックで



デカールを丁寧に貼りましたら、これで塗装は完了。  
ここで一時間かけて クリアーNo.46 を薄く 吹いて保護しておく とデカールがはがれず 長持ちします。



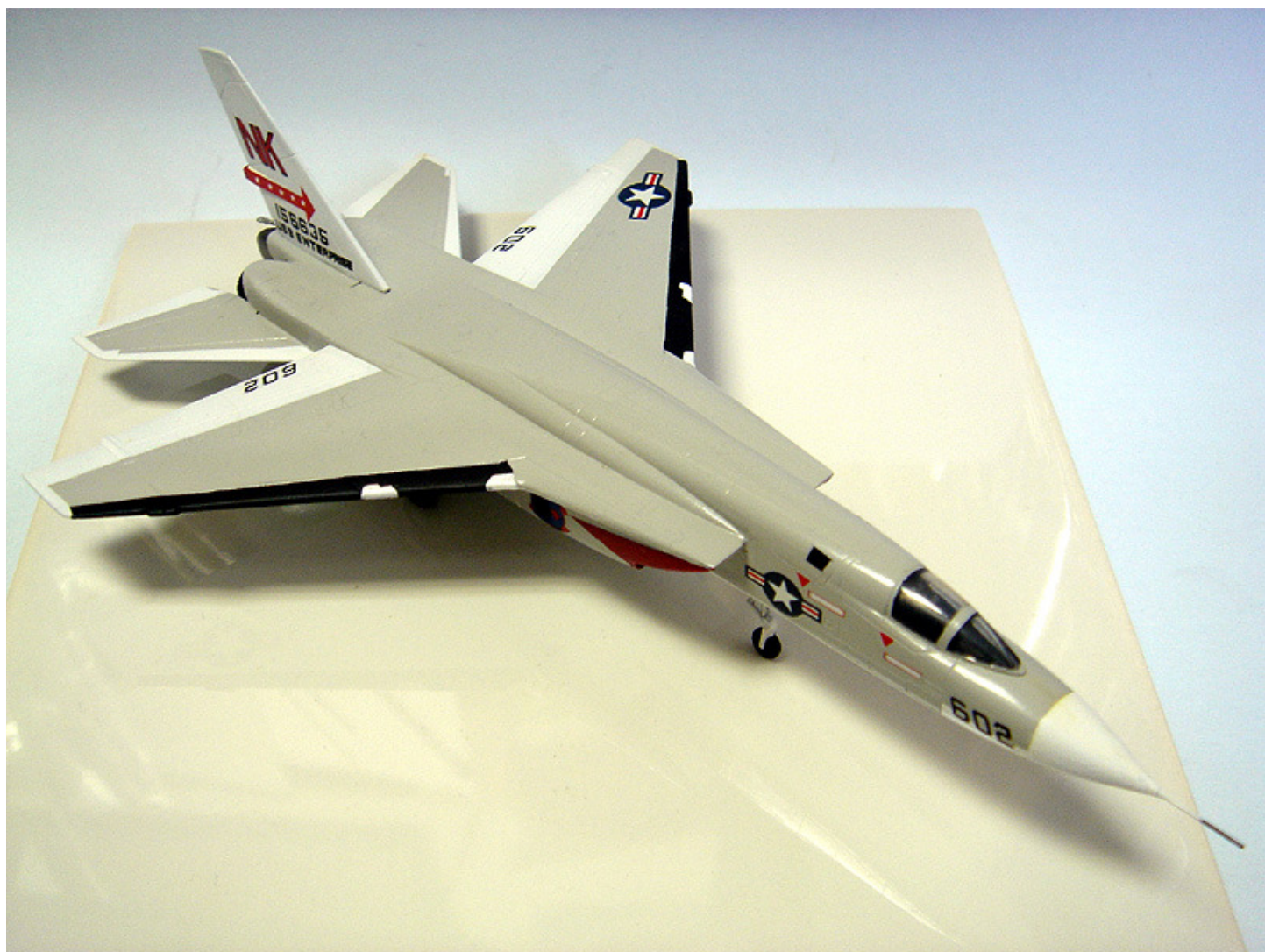
キャノピーを接着すれば 完成！

(キャノピーも マスキングゾルを使って同様にガルグレーで塗り分けておきます。)





## 完成写真



いかがだったでしょうか。マスキングゾルを使って丁寧に塗り分ければ  
思ったより簡単に ここまでたどり着けるとおもいます。  
広い面積はマスキングテープを使ってもかまいません。

US NAVY ハイビジ機の塗装でした。

あなたも完成すれば、ぜひデジカメで写真を撮って メール添付で  
月刊NET模型誌「webモデラーズ」の「誌上個展コーナー」あてお送りください。

送り先は [info@webmodelers.com](mailto:info@webmodelers.com)

お待ちしております。

( webモデラーズ編集部)

webmodelers 増刊  
プラモデルを作ろう! Beginners スタートアップ (No. 1)  
US NAVY AIRCRAFT の塗装講座  
(ハイビジ編)

このシリーズの第一弾として US NAVY AIRCRAFT の塗装講座(ハイビジ編)を発行しました。最もUS NAVY機が美しいと言われた50年代から70年代まではハイビジ(ハイビジリティ)といわれる上面ガルグレー、下面ホワイトの2色迷彩で、大好きな読者も多いのではないのでしょうか。

今回の内容は

塗装講座1) 塗料と塗装用具

1. 塗料
2. 塗装用具
3. 航空機プラモデルの組み立てに必要な 接着剤, おもり, パテ

塗装講座2) 塗装手順 RA-5C を作る  
といたしました。

ぜひ参考にさせていただいて、素適な プラモデルを作っていただければ、編集者の望外の喜びです。

WEBMODELERSでは 引き続き、Beginnersスタートアップ (No. 2)を計画しています。お楽しみに

\* 月刊NET模型誌「webモデラーズ」は スケールモデル専門の無料NET模型誌です。実機資料から 製作記事など毎月満載。一度ぜひ訪問ください。アドレスは  
<http://www.webmodelers.com>

もし、あなたの作品が完成すれば、ぜひデジカメで写真を撮って eメール添付で  
月刊NET模型誌「webモデラーズ」の「誌上個展コーナー」あてお送りください。

送り先は [info@webmodelers.com](mailto:info@webmodelers.com) 。お待ちしております。

[Webmodelersからご挨拶]

webmodelersは Internet上でwebマガジン形態のスケールプラモデル専門の模型誌として出発しましたが、電子書籍媒体でも 弊誌の主要な記事や貴重な写真資料、作品の写真を電子書籍 の形に残して刊行して行きたいと考えています。

今後も、航空機記事だけでなく、AFVなど ジャンル別に増刊の形で発行することを予定しております。末永く皆様のご支持を よろしく願いいたします。

webmodelers 増刊 プラモガイド

プラモデルを作ろう! Beginners スタートアップ  
(No. 1)

( 通巻53集 )

発行人: 田口博通

発行所: office webmodelers

住所: 神奈川県湘南

連絡先: [info@webmodelers.com](mailto:info@webmodelers.com)

2013年4月1日発行

著作権は発行所に帰属しております。

無断転載を禁ず

e-bookの電子情報 (PDFファイルおよびe-Pub ファイルなど)の無断複写 および、無断配布を禁ず。

<http://www.webmodelers.com>

**web-modelers**